

兵庫県水産技術センターだより

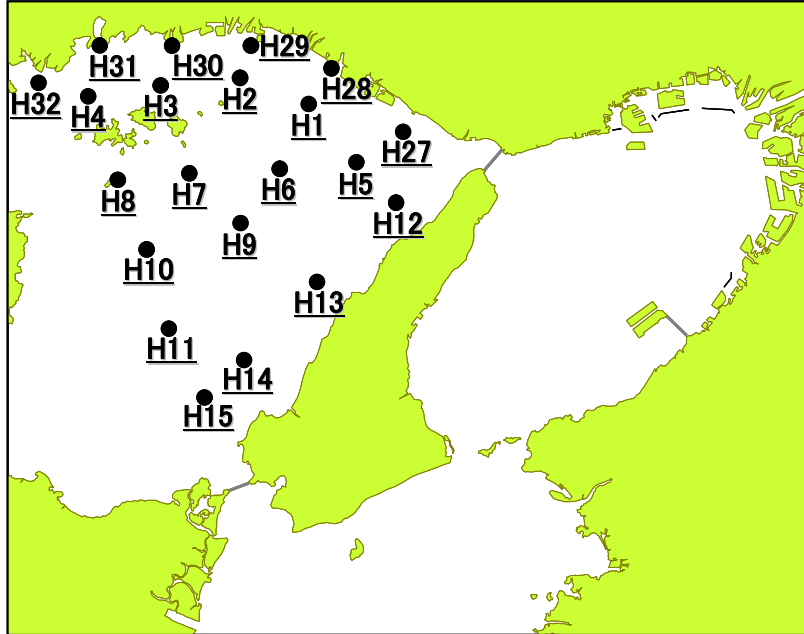
赤潮情報 AK-29-12号(播磨灘全域)

平成29年9月1日発行

8月31日～9月1日に赤潮プランクトン調査(播磨灘全域：定期調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトンの出現はごくわずかでした。

- ・北部沿岸域では小型珪藻が優占していますが、有害な赤潮が発生しやすい時期ですので、引き続き、海水の着色や海色の変化にご注意願います。
- ・貝類を斃死させるヘテロカプサ・サーキュラリスカーマは確認されませんでした。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10細胞/ml 警戒体制： 100細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500細胞/ml 警戒体制： 5,000細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50細胞/ml 警戒体制： 500細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・カクタ	シャットネラ・グロサ	シャットネラ・ベキロサ	コルネウム・ボクロロリス	ヘテロカプサ・アガオ
H1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H6	0	0	0	0	1	0	0	0	0
H7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H9	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H12	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H15	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H29	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H32	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【今後の調査予定】

- ・今年度の定期調査は今回で終了します。臨時調査を実施した場合は別途お知らせします。